

令和2年度 保健・体育科 男子 授業充実（改善推進）プラン

昨年度のプランの検証

全体的に意欲的に活動に取り組むことができている。授業規律も確立し、チャイムと同時に授業を始めることができている。学習カードを記述させても、しっかりと自分の考えを書けるようになってきた。

しかし、新型コロナウイルスの影響で、生徒の運動時間は減り、体力がかなり落ちているように見受けられる。今後は授業規律をしっかりと意識させながら徐々に生徒の体力を戻していきたい。

また、意欲的に、考えながら運動に取り組むことができる生徒が増えていたので、より充実した授業内容（グループ学習や課題別学習など）と授業改善に取り組み、各種運動の楽しさ喜びを味わわせ、生涯にわたって運動に親しむ資質や体力の向上を目指して行きたい。

課題（各観点について）

観 点	分 析
運動や健康・安全への 関心・意欲・態度	多くの生徒は意欲的に授業に取り組むことができている。しかし、運動に対して苦手意識をもつ生徒もおり、どの単元においても授業に前向きに参加する姿勢を身に付けさせることが課題である。さらに、運動が得意な生徒の中でも、好きな単元では積極的に取り組むが、嫌いな単元や辛い内容などでは後ろ向き姿勢をとる傾向がみられる。
運動や健康・安全に ついての思考・判断	自らの課題や、その課題を解決するための方法を理解している生徒は増えてきたが、それを表現することを苦手とする生徒が多い。 自己評価カード（各学期）や学習カード（各種目）は、少しずつ定着してきてはいるが、今後も継続的に取り組ませ、自分の意見をまとめ、表現させる必要がある。
運動の技能	今までは定期的に持久走を計測したり、流しをしたり、体力を向上させる取り組みを行ってきた。その結果、全校的に全身持久力の向上が見られた。しかし、今年度は休校期間が長く、全校的に見ても体力の低下が著しい。体育の授業内で運動量を確保し、体力の向上に努めていかなければならない。
運動や健康・安全に ついての知識・理解	各種目のルールや方法などを、しっかりと理解している生徒が多くなってきた。しかし、その内容を実際の授業の中で生かせない生徒が多く見られる。ルールなどの知識や各種目の技能習得のポイントなどを、実際に発揮できる場を意図的に増やしていく。

授業改善のポイント（調査結果等を踏まえて）

【関心・意欲・態度】
授業規律のさらなる向上を図り、全員が意欲的に授業に取り組めるように授業改善を図る。特に、各種目の特性やポイント、楽しさを具体的に理解させ、積極的に授業に参加する態度の育成に努める。

【思考・判断】
自己評価カードや学習カードを積極的に活用し、生徒自身が自分の課題に気づくような授業プランを行う。さらに、その場の状況に合わせた言動を考えさせ、進んで行動にあらわされるような助言を行う。

【技能】
各種目において、基礎・基本の技能の重要性を理解させ、基礎練習などにも意欲的に取り組ませ効果的な技能の習得を目指す。さらに、記録測定やゲーム等を通し、自己の課題を見つけ進んで解決できる態度の育成に努める。

【知識・理解】
種目の特性やルール、基礎・基本の技能のポイントをしっかりと理解させた上で授業に望ませ、より充実した活動内容を図り、効果的に技能の向上やゲーム内容の質の向上を図っていく。

授業改善策

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、内容が制限される中で生徒たちの体力向上を常に念頭にいれ、授業を展開していく。また、授業規律の向上にともない、さらなる授業内容の充実を図っていく。特に、各種目の特性に合わせた課題解決型の授業を行う。3年間を見通した計画を立て、3年後にはどの程度まで身に付けさせるかを考えた授業展開を図る。その為にも、年間授業計画や種目の単元計画をしっかりとたて、授業開始時には本時の課題と目標を的確に伝え、目的を持った授業展開を行う。さらに、学習カードを積極的に活用し、一人一人の課題に合わせた的確なアドバイスを目指し、かつ、生徒同士が相互にアドバイスできるようなグループ学習なども多く展開していく。